

# 特別の教科 道徳 学習指導案

授業日時 令和3年9月1日(水)第6校時  
 授業学級 3年B組  
 授業会場 3年B組教室  
 授業者  
 指導者

## 1 主題名 「 限りある命を大切にすることは 」 ( 3年) 資料名 「命の選択」

内容項目 D- (19) 生命の尊さについて、その連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重すること。

## 2 本時案

(1) 主眼 命について考えを深める場面で、祖父の意思を無視してでも祖父に生きていてほしいと願った父にかける言葉を考えたり、尊厳死に対する考え方を読み、意見を交わしたりする活動を通して、命の選択はその人本人だけがするものではないことや、命の終え方には様々な考えがあることを知り、命の尊さについて様々な立場から考えを深めることができる。

### (2) 指導上の留意点

生徒の発言を尊重する。安易な死を肯定することがないようにする。

### (3) 展開

過程	学習活動	予想される子どもの反応	「授業者の主な発問」 ※留意点 【教材】	時間
導 入	1. アンケート 結果を共有 する。 【全体】	「みんななんて書いたんだろう」 「長生きはいいことだと思っている人はとても多いのに、長生きしたい人は意外と少ない」	「長生きはいいことか」、「長生きした いか」という質問に対して、Google Form で集めた生徒の回答結果を提 示する。(電子黒板) 「みなさん命についての考えを持っ ていることが分かりました。今日はそ の考えを、様々な立場の意見を聞きな がら深めていきましょう。」	5          10
	2. 資料を読 み、父と母が 祖父の意思 を尊重でき なかつた理 由を考える。 【個人】	「祖父」 「延命措置はしない選択をした。」 「たくさんの器械につながれてまで生 きたくなかつた…確かに、医療が発達 していなかつたら死ぬ運命にあるの を、人間の力で無理やり引き延ばして いるともいえる。」 「治療にお金がかかるから気を使つた んじゃないか。」 「父と母で、延命する決断をした。」	「今回の教材のタイトルが『命の選 択』なのですが、登場人物の中で命の 選択をした人は誰でしたか？そして それはどんな選択でしたか？」 「ほかの人物も命の選択をしました ね。誰でしたか？」 生徒数人を指名し、答えてもらう。	
		補助発問：父と母は、なぜ祖父の意思を尊重できなかつたのだろうか。		
		「延命治療によって、祖父のつらさが 和らぐと思つたから」 「家族だし、なるべく長く祖父に生き ていてほしかつたから」 「延命治療をしないという決断に罪悪 感があつたから」 「祖父は自分たちに迷惑をかけたくな いから、延命措置をしないなんて言っ たんじゃないか」	「父と母の選択は、祖父の意思を無視 するものでしたね。どうしてそんな決 断をしてしまったのでしょうか。」 ワークシートに記入させる。 延命措置はしないと選択したこと、父 と母が苦しきから祖父を救い、長く生 きてほしいという思いから延命措置 をするという選択をしたことを読み 取る。	

展 開	<p>3. 祖父、父・母の願いを踏まえ、父と母の抱える葛藤を理解し、共感しながら自分の考えを持つ。 【個人→グループ】</p>	<p>中心発問：自分が「僕」の立場だったら、「父さんたちは、どうすべきだったんだろう…」にどんな言葉を返すだろう。</p>	10	
	<p>4. 尊厳死をめぐる考えを読み、自分が共感最も共感する記事を選び、共感した理由を交流する。 【個人→違う記事を選んだ人と交流】</p>	<p>補助発問：尊厳死に対する考えを読んで、共感した記事を選び、共感した理由や意見を交わそう。</p>	10	
終 末	<p>5. 振り返りを各自で書く。 【個人】</p>	<p>「命の選択には、自分の意志だけでなく周りの人の願いまでかかわってることが分かった。特に家族は自分の命と深くかかわっているから、強い思いがある。」 「命を大事にすることには、寿命を全うするという考え方も、その人がどう生きたいのかを尊重するという考え方もあることが分かった。」 「家族のことを考えると、命をむげにすることは決してしてはいけないと分かった。」</p>	<p>本時の振り返りを書くよう促し、命に対して自分の考えがどう広がったか確認させる。</p> <p>【本時の評価（評価する対象）】 命を大切にしている行動について様々な立場の意見を踏まえ、受け入れたり共感したりできる（ワークシート）</p>	10